

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

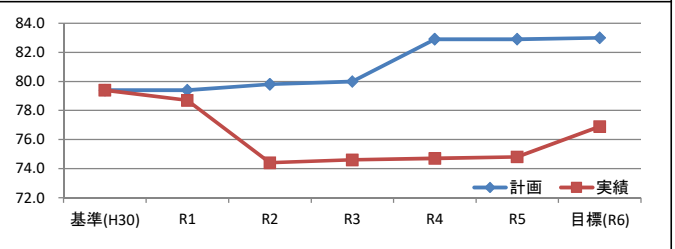
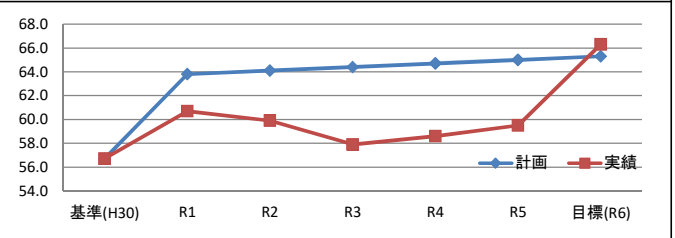
総合 体系 計画	分野	2	第2章	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	施策統括課	道路整備課
	施策No.	6	施策名	道路ネットワークの充実	課長名 (施策統括責任)	澤野 正芳
	関係課	都市政策課 道路整備課 道路管理課 北部建設事務所 南部建設事務所				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	地域の拠点間や市内の道路を快適で安全に通行できる。
取組方針	道路の拡幅改良、道路の通行空間の再配分、歩道の整備、自転車走行空間の整備などにより、市民が快適で安全に通行できる交通環境の実現を図ります。また、道路の効率的な維持管理のため、市民の自主的な清掃活動への支援や、橋りょうを含む道路施設の長寿命化に取り組みます。他都市との交流基盤となる広域的な道路の整備を推進するとともに、市内の道路ネットワークの充実を図ります。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	道路利用者（市民）					
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	市内における渋滞箇所の解消や安全性を確保することにより、道路を快適にまた安全に利用できるようにする。					
成果指標 A						単位
地域拠点間や市内の道路を快適で安全に通行できていると感じる市民の割合						%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
56.7	63.8 60.7	64.1 59.9	64.4 57.9	64.7 58.6	65.0 59.5	65.3 66.3
成果指標 B						単位
都市計画道路整備率						%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
79.4	79.4 78.7	79.8 74.4	80.0 74.6	82.9 74.7	82.9 74.8	83.0 76.9



3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	51.2%	49.7%	↓
ある程度重要である	40.9%	42.1%	↑
あまり重要ではない	3.2%	4.6%	↑
重要ではない	0.1%	0.4%	↑
順位	10/36位	13/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	3.9%	3.9%	→
どちらかといえば満足	39.6%	43.9%	↑
どちらかといえば不満	33.0%	32.9%	↓
不満である	10.9%	8.7%	↓
順位	32/36位	32/36位	→

#### 4. これまでの取組・成果

道路の拡幅改良、道路の通行空間の再分配、歩道の整備、自転車走行空間の整備などにより、市民が快適で安全に通行できる交通環境の実現を図った。

また、道路の効率的な維持管理のため、市民の自主的な清掃活動への支援や、橋りょうを含む道路の整備を推進するとともに、市内の道路ネットワークの充実を図った。

#### 5. 指標の達成状況に関する分析

地元意向調査及び費用対効果や緊急性の観点から優先度を判断し生活道路を整備したため、市民意向調査の結果が上昇したと思われる。

一方、急激な物価上昇や用地交渉の難航等により、都市計画道路整備率は目標値に達していない。

#### 6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

- ・快適で安全に通行できる交通環境を整備する。
- ・市内の拠点間をつなぐ幹線道路ネットワークを充実する。
- ・道路インフラの長寿命化や維持・管理の高度化・効率化を実現する。